

R7トころん学力向上プロジェクト 研究授業③		授業者名	
日 時	10月10日(金) 5時間目	学年学級	1年
教科名	算数	単元名	たしざん(2)
単元の 評価規準	<p>【知】繰り上がりのある計算の仕方について理解し、(1位数)+(1位数)の繰り上がりのある計算ができる。</p> <p>【思】10の補数に着目して、繰り上がりのあるたし算の仕方を考えている。</p> <p>【主】たし算が用いられる場面に親しみを持って関わり、10をつくって計算するよさや学ぶ楽しさを感じている。</p>		

指導と評価の計画(全9時間)

時数	学習内容	指導上の留意点	学習評価 指導に生かす評価(●) 記録に残す評価(☆)		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的
1	・ブロック操作による繰り上がりのあるたし算の仕方の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答えが10より大きくなる計算の再確認をする。</li> <li>・具体物を用いて、視覚的に分かりやすく10の補数やまとまりを捉えられるようにする。</li> </ul>	・ブロック操作を通して、繰り上がりのあるたし算ができる。		・答えが10をこえることに気づき、ブロックを操作して10のまとまりをつくって計算しようとしている。
2	・繰り上がりのあるたし算の一般化と定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数図ブロックの操作を通して、繰り上がりのあるたし算の計算方法を定着させる。</li> </ul>		・加数を分解して、繰り上がりのある(1位数)+(1位数)のたし算の仕方を考えたり説明したりしている。	
3	・被加数が6以上のたし算の練習と適用題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10の補数を意識させ、加数を分解して計算する方法をおさえる。</li> </ul>	・加数分解によるたし算の仕方を理解し、計算できる。		
4 (本時)	・被加数が5以下のたし算の練習と適用題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被加数が5以下であっても、算法の形式を統一し、加数分解をしてたすことを確認する。</li> <li>・児童の実態に合わせ、被加数分解は算法として認める。</li> </ul>		・被加数や加数に対する10の補数に着目すればよいことに気づいている。	
5 ～ 7	・計算カードを使ったたし算の練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一覧表を用いて、繰り上がりのある(1位数)+(1位数)のたし算の36通りを繰り返し取り組ませる。</li> </ul>	・繰り上がりのある(1位数)+(1位数)のたし算が確実にできる。		・(1桁)+(1桁)の繰り上がりのあるたし算を楽しみながら、確実に身につけようとしている。
8	・計算カードの答えによる分類ときまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・並び方の中にある規則性に気づかせる。</li> </ul>		・答えが同じたし算カードを並べるのに、順序よく整理したり、きまりを見いだしたりしている。	
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たしかめよう、ふりかえろう、やってみよう</li> <li>・学習内容の理解を確認</li> </ul>		☆テスト	☆テスト	

本時( 4 / 9時)

本時の評価規準	被加数や加数に対する10の補数に着目すればよいことに気づくことができる。 【思・判・表】		
本時の課題	4 + 8はどのように計算したらよいのだろうか。		
	序盤:ギミック (1分頃~5分頃)	中盤:ギミック (5分頃~35分頃)	終盤:ギミック (35分頃~45分頃)
非認知能力	<input type="checkbox"/> コントロール <input type="checkbox"/> 立ち直り <input checked="" type="checkbox"/> やる気 <input type="checkbox"/> 思いやり <input type="checkbox"/> コミュニケーション	<input checked="" type="checkbox"/> コントロール <input checked="" type="checkbox"/> 立ち直り <input type="checkbox"/> やる気 <input checked="" type="checkbox"/> 思いやり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション	<input type="checkbox"/> コントロール <input type="checkbox"/> 立ち直り <input checked="" type="checkbox"/> やる気 <input type="checkbox"/> 思いやり <input type="checkbox"/> コミュニケーション
ギミック	① 授業の初めに10のうたを音読させ、10の合成分解の知識を定着できるようにする。 ② 前時の教室掲示を見て、10のまとまりを作れることを意識できるようにする。	③ 小集団指導を行い、自力解決のサポートを行うことで、安心して学習に取り組めるようにする。 ④ 4人グループで意見共有することで、10の補数に着目すればいいことに気づかせる。	⑤ 特に発揮できていた「上っ子パワー」を手を挙げて確認することで自分の学習の仕方を振り返ることができるようにする。 ⑥ 一番多かった「上っ子パワー」の色を塗り、全体でほめる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 空間 ・ <input type="checkbox"/> 教具 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 空間 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 教具 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 空間 ・ <input type="checkbox"/> 教具 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 活動
予想できる姿	① 10のうたを元気よく音読をしている。 ② 前時との問題の違いを見つけ、本時の問題を前時の考えを生かして考えようとしている。	③ 8を6と2にわけて、10のかたまりを作ると計算しやすいことがわかる。 ④ 班で話し合っ、教えあったり、多様な考えに触れあったりすることを楽しんでいる。	⑤ 1時間の自分の様子を振り返ろうとしている。 ⑥ 次回の学習へ意欲を高めている。
感情イメージ	<p>開始</p> <p>① ↑</p> <p>② ↑</p> <p>③ ↓</p> <p>④ ↑</p> <p>⑤・⑥ ↑</p> <p>終り</p>		

見てほしいところ	4人グループの人数は適切であったか、「思いやり」や「コミュニケーション力」は見られたか。
----------	--